

法令・学習指導要領

東京都教育委員会

八王子市教育委員会教育目標 ビジョンはちおうじの教育

基本理念【夢に向かって目標をもち、認め合い、高め合い、みんなが輝ける学校】

【本校の教育目標】・・・【目指す児童像】

・人権尊重の精神を基調とし、教育基本法及びその他の法規に基づき、東京都や八王子市教育委員会の教育目標と地域・家庭の人々の願いを踏まえ、児童が夢に向かって具体的な目標をもち、自分とみんなを尊重して高め合い、認め合って児童全員が輝く場を持つことができる学校づくりを進め、知性・感性・倫理観・体力・コミュニケーション能力などの豊かな人間性を備えた児童の育成を図る

◎すすんで学び合う子ども…「自主的、意欲的に学び、自ら考え判断して、実践できる子ども」

…本年度重点目標…基礎・基本を基に主体的に学び、粘り強く自己の目標に取り組むことができる児童、学び合いを通して互いに高め合い、輝く姿を認め合える集団を育成する

○思いやりのある子ども…「自分を大切にし、みんなを大切にできる子ども」

○たくましく生きる子ども…「強い意志と丈夫な体をもち、すすんで行動できる子ども」

児童の参画意識を育む指導法を模索する

【目指す教師像】

・人権尊重の理念を尊重し、職務に誠実かつ真摯に向き合う教師

・自己の指導力向上を目指し、常に研究や研修に励み続ける教師

・教育公務員としての自覚と責任をもって職務を遂行できる教師

・「子供のために何ができるか」を常に問い続ける教師

・組織の一員として、常に学校運営に主体的に参画し、課題について、組織で解決する意思をもった教師

・子どもも、自分も、家庭も幸せにできる教師

【目指す学校像】

・全児童に居場所がある、安心してすごせる楽しい場としての学校

・自分の課題がわかり、課題解決に向け具体的な目標をもち、自らの目標に挑み実現できる学校

・山田小学校で学んでよかったと、子どもと保護者が思うことができる学校

・教職員が自分の持ち味を発揮でき、やりがいがあると思うことができる学校

・児童が夢や希望や憧れを持つことができる学校

・全教職員で全校児童を見つめ、誰かが必ず児童に寄り添える学校

・保護者・地域とともに歩み、つくる学校

そ だ て る

おしえる ほめる きたえる

元気・あいさつ

令和7年度の主な取り組み

(1)確かな学力を育む取組

・習得目標問題の定着を目指し、放課後補習を効率よく活用する。

・課題解決型授業を行い、特に児童の思考力と表現力を充実させる。

・教員の授業力の向上を目指す。

→校内研究でグループ研究に日常的に取り組み、授業についての情報交換を行い、互いの指導技術を向上させる

・一人一台の教育端末や ICT 機器を活用し個に応じた指導を全学級で取り組む。

(情報リテラシー教育と両輪)

・地域環境、地域人材を生かした体験的な学習や郷土学習に取り組む。

*楽しい、工夫した授業すすんで学び合う子の育成への肯定的評価を80%以上

(2)いじめを許さない環境づくり

・「特別の教科 道徳」で自分事として捉えられる授業実践や、全教育活動を通し道徳的实践力を育てる。

・週1回の「ハートタイム」(いじめ防止対策会議)を実施

→子供の現状の見取りを共有、全児童に全職員で寄り添い、いじめ未然防止、早期発見・解決に組織的に取り組む

→教職員のいじめに対する感度をUPさせる。

→「子ども見守りシート」を活用、家庭・地域の協力を得て校外の情報も広く収集し、きめ細やかな対応をする

→「いのちの日」を設定、学年に合わせてSOSを出せる授業やいじめ防止に関する授業を実施、「イジメ ダメゼッタイ」を徹底する。

→常時「相談できる大人」がいるか確認する。

*いじめ防止の取組、生活指導の徹底についての肯定的評価を80%以上

(3) 健やかな心と体の育成

・運動体験時間が減少している現状に対応する。

→委員会活動による運動体験を増やす場づくりに取り組む。

→学期に1回以上運動週間を設け、めあてをもって取り組む児童を育成する。

・学期に1回以上食育週間を設け、自分の体と食や環境からの影響を学ぶ場づくりを行う

・第4学年に「生命の授業」第6学年に「薬物乱用防止教室」を実施する。

・異学年交流を深め、下学年が、上学年に憧れをもち、同時に上学年に上級生としての自覚を持たせ輝く姿を実現できる場をつくるよう工夫する。

*体力向上の取組についての肯定的評価を85%以上

(4)特別支援教育の充実

・個に応じた支援を工夫する。教育のユニバーサルデザイン化(苦手な子が分かる授業は、ほかの子にも分かり易い授業)

・うぐいす教室担当との連携、巡回相談員からの支援を受け、自らの指導を見直す機会をつくる。

*特別支援教育の充実と個に応じた支援の工夫についての肯定的評価を70%以上

(5)保護者・地域と連携した教育活動を実施する。

・開かれた学校づくりを目指し、ホームページ更新に努力する。学校運営協議会、PTA ボランティアの協力を借り、学校だけではできない教育に取り組む。

*学校の情報が適切に伝えられているについての肯定的評価を80%以上